

授業科目	* 保健福祉学入門				単位	1		
履 修	必修	関連資格				ナンバリング	NU10401J	
開講年次	1年	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP3-1 DP4-1			
担当教員	浅野 嘉延、大嶋 満須美							
授業概要	<p>保健福祉学は人々の健康と福祉(幸福)に貢献することを探求する研究の営みであり、基礎から実践まで幅広い課題に取り組んでいる。この営みは看護、福祉、栄養などさまざまな専門家が協力し合うことで発展してきた。保健福祉学部に所属する学生がめざす看護、福祉、栄養の専門職も、現場においてはお互いに協力し合うこと、多職種協働が求められている。これを実践するには、自らの専門性を高めるだけでなく、協働する他職種への理解と協力し合う力が求められる。</p> <p>本科目は看護学科、福祉学科及び栄養学科における学びをスタートするにあたり、保健・医療・福祉の専門性と多職種連携の意義を理解し、社会の期待に応えるための課題への認識を深めていくものである。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1. 現在の保健福祉学分野の課題を説明できる。(DP1-1)</p> <p>2. 看護、福祉、栄養の各々の専門領域の役割と多職種連携の必要性を説明できる。(DP3-1)</p> <p>3. 保健福祉学入門の学修を踏まえ、自らの学ぶべき課題を整理して説明できる。(DP4-1)</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	84	0	16	0	100	
知識・理解 (DP1-1)			24		8		32	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			40		8		48	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)	0	0	20	0	0	0	20	
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<ul style="list-style-type: none"> 他学科からの期待に対して意見を述べるができる。 専門領域を越えて学ぶこと、交流することを自らの課題として取り入れている。 				<ul style="list-style-type: none"> 保健福祉学の全体としての目的や課題をいくつか説明できる。 自らの学科で学ぶこと、他学科で学ぶことが説明できる。 卒業生の講義を聞いて、職業イメージを説明できる。 多職種チームで取り組む意義が説明できる。 				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	現在の保健福祉学分野の課題(担当:浅野)	講義	復習:当該部分の復習	15分
2	各学科で学ぶこと、(担当:大嶋、稲木、八木)	講義	復習:当該部分の復習	15分
3	各専門領域で学ぶこと、他学科への期待(1)看護学科から(担当:外部講師)	講義	復習:当該部分の復習	15分
4	各専門領域で学ぶこと、他学科への期待(2)栄養学科から(担当:外部講師)	講義	復習:当該部分の復習	15分
5	各専門領域で学ぶこと、他学科への期待(3)福祉学科から(担当:外部講師)	講義	復習:当該部分の復習	15分
6	教職の仕事(担当:新谷、西丸、手嶋)	講義	復習:当該部分の復習	15分
7	各専門領域の仕事(担当:外部講師)	講義	復習:当該部分の復習	15分
8	保健福祉チームの取り組み(担当:浅野)	講義	復習:当該部分の復習	15分
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				

23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	静かに傾聴する力。 話を要約する力。			
テキスト	指定なし。 講義によってプリント等の配付があります。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	講義中に講師の先生から紹介があります。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・保健福祉学部合同の授業です。学科の枠を越えて学びます。 ・講師の先生方の都合で、講義日が前後する可能性もありますので、掲示などにご注意下さい。 ・講義で聞いた内容について、図書館の書籍やネットで検索し、理解を深めて下さい。 ・講師の先生に感想や質問を直接に訴えることも有意義と思います。 ・レポート外の提出物は小レポートです。 ・小レポートの提出をもって出席としますが、必要事項が書かれていない場合は提出しても欠席として扱います。 ・積極的に取り組まれることを期待します。 			
達成度評価に関するコメント	<p>毎回提出する小レポート及び最終的に提出するレポートで評価する。 行動目標の点数配分比率はつぎの通りとします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現在の保健福祉学分野の課題を説明できる 小レポート 8%、レポート 24%、合計 32% 2. 看護、福祉、栄養の各々の専門領域の役割と多職種連携の必要性を説明できる 小レポート 8%、レポート 40%、合計 48% 3. 保健福祉学入門の学修を踏まえ、自らの学ぶべき課題を整理して説明できる 小レポート 0%、レポート 20%、合計 20% <p>小レポートの構成と評価基準等は下記の通りとする。これ</p>			